

みやしろ

No. 116
2020.11.1

議会だより



令和元年度一般会計決算

私たちの税金は **どう活かされたか** 2

国保の都道府県化を検証 6

第5次宮代町総合計画(案)を否決 8

各議員の賛否 11

町政をただす 一般質問に13人が登壇 ... 12

町民の声・12月議会・録画配信のお知らせ ... 26

思い出いっぱい運動会

(東小学校)



宮代町議会一般質問
録画QRコード



宮代町議会H.P.
QRコード

私たちの税金は

どう活かされたか

決算特別委員会で検証

9月定例議会は、8月27日から9月29日までの3日間わたって開かれました。

町長から令和元年度一般会計決算の認定や、条例改正など24件が提案され、審議の結果、第5次宮代町総合計画（案）は賛成少数で否決しました。その他の議案はすべて原案どおり認定、可決、同意しました。

また、議員から提出された「子どもたちの学び、心身のケア、安全な教育環境を保障するために、少人数学級の実施を求める意見書」と「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」は全会一致で可決しました。

町民から提出された「金原、山崎、逆井、西原団地への循環バスあるいはデマンド交通の運行を求める請願書」は全会一致で採択しました。

一般質問では、13人の議員が登壇し、町政をたどりました。

審査意見

監査委員 しんそ あきら 新租 章

令和元年度の宮代町一般会計決算を見ると、依然として大変厳しい状況が続いている。国民健康保険特別会計への繰出金は、平成27年度決算から減少しているものの、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の繰出金は、引き続き増加している。今後においても特別会計への繰出金、子育て支援に係る支出増などに伴う財政圧迫が懸念される。

総括意見として、いっそうの歳入確保と経常経費の節減に努めるとともに、各種事務事業を効率的に執行し、最少の経費で最大の効果を上げるように、なお一層努力されることを望む。

総務・財政

主な使いみち

●庁舎管理事業	6,150万円
●ふるさと納税管理事業	3,403万円
●便利バスが走る事業	2,727万円
●評価替調査事業	2,587万円
●第5次総合計画策定事業	742万円

問 便利バスのフリー乗降制は考えられるか。

答 宮代町の現状に合っているかを含めて考えていきたい。

問 高齢者の運転免許自主返納者に支援する、便利バス回数券の使用状況は。

答 自主返納した65歳以上の方に、便利バス70回分の回数券を交付。令和元年度中は731枚が使われた。

問 たばこ税は1億7000万円も収入がある。たばこを吸える建物。

答 庁舎の敷地内にはスペースがないので喫煙所は設けない。

問 地方自治体の全国広報コンクールで特選・入選は全てタブロイド版ではなくA4版だが。

答 多くの方に手に取ってもらいたい。読んでいただける広報紙を目指している。

問 一般質問の録画放送ほどの程度見られているのか。

答 令和元年10月から2年3月の視聴件数は777件。

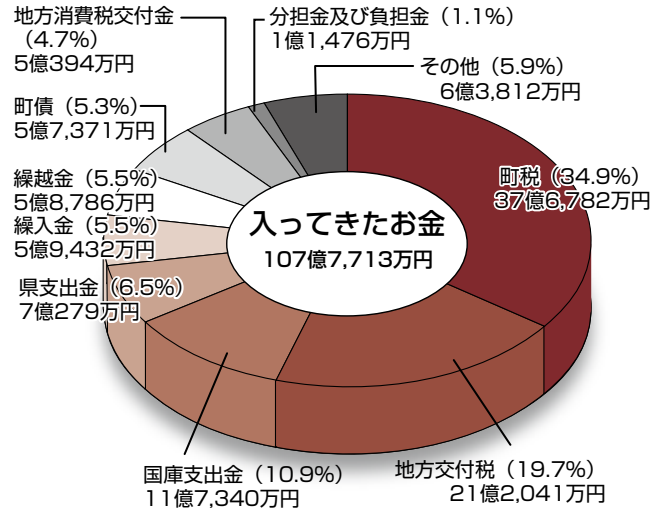
便利バスにフリー乗降制の導入を



杉戸町役場敷地内に設置された喫煙所

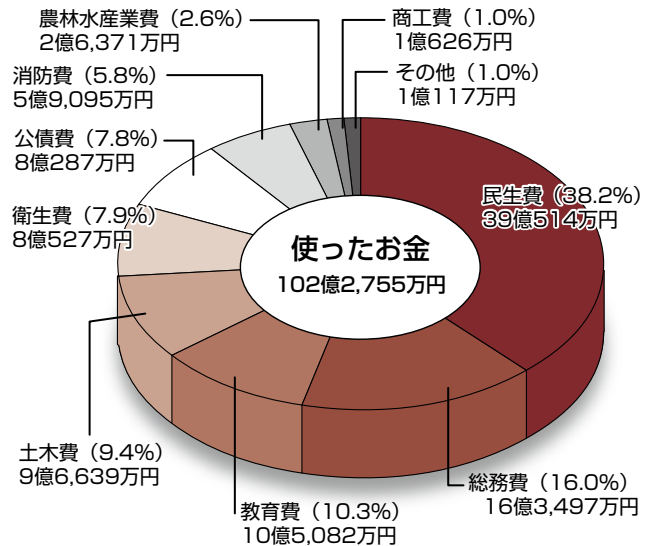
●歳入の内訳

107億7,713万円（前年度比4.2%増）

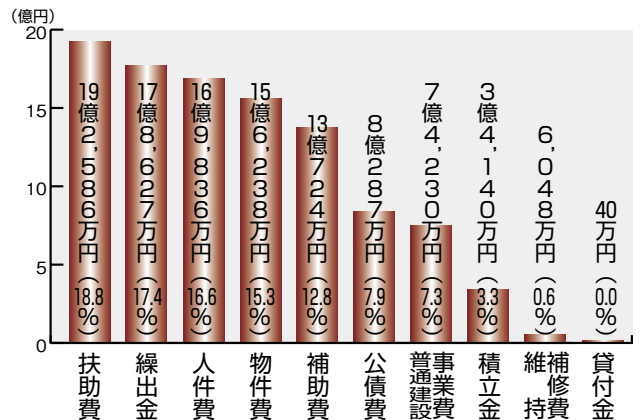


●歳出の内訳

102億2,755万円（前年度比4.8%増）



■歳出の性質別内訳



- 扶助費…社会保障制度の一環として児童、高齢者、障がい者、生活困窮者などに対して支援に要する経費。
- 繰出金…国保、介護、後期高齢者医療、公共下水道など特別会計に支出される経費。
- 物件費…消費的性質の経費の総称（賃金、旅費、需用費、役務費、備品購入費、報償費、委託料などの経費）

商工・建設

主な使いみち

●新しい村管理運営事業	7,623万円
●都市計画道路整備事業	6,718万円
●東武動物公園駅東口周辺整備事業	6,182万円
●農業生産基盤整備推進事業	1,966万円
●商工業振興事業	1,705万円

問 東武動物公園駅東口整備事業は、現状に即した駅前広場完成イメージ図を提示すべきでは。

答 杉戸町では、東口通り線を宮代町と一体的に考えていくとして「まちづくり構想の策定委員会」を開催した。商業の活性化、景観整備も含めて、より具体的なものが示せるときには作っていききたい。

問 都市計画マスタープラン作成の費用は。

答 令和元年度が761万円、2年度は578万円を合わせた金額

東口駅前広場の完成イメージは

で作成する。

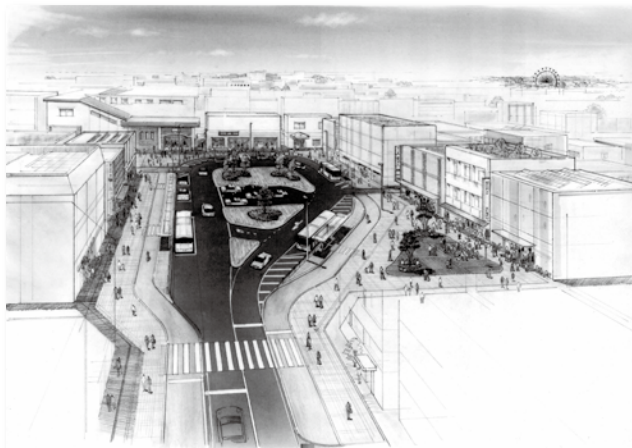
問 駅東口・西口の事業費は。

答 西口の全体事業費は約19億円。国が6億円、宮代町が4億円、東武鉄道株が10億円。

東口の駅前広場事業は18億円。9億円が国庫補助、宮代町は7億2000万円。杉戸町が1億8000万円を負担してくれる。

問 新しい村の取り組みは。

答 将来的に進むべき方向を見定めて計画を作りたい。



東武動物公園駅東口の完成イメージ図



道佛地区の「きりかぶ公園」

生活・保健

主な使いみち

●消防総務事業	5億4,911万円
●こども医療費支給活動事業	1億 11万円
●図書館管理事業	8,580万円
●総合運動公園管理事業	6,492万円
●公園等環境管理事業	2,735万円

コロナ禍での避難場所の確保は

問 コロナ禍による3密対策で、これまでの避難場所では到底間に合わない。確保は。

答 不足分は消防団の詰所、自治会の集会所などをサブ的な避難所として考えている。

問 町道の横断歩道の消えているところ、交通違反反則金の原資だけで賄うのか。

答 横断歩道やグリーンベルトなど、通学路の要望により塗り替えを適宜対応している。

問 地区連合会は必要なのか。

答 自主的に活動している地区がある。

問 公園の管理をしている自治会からの要望は。

答 遊具の破損、ごみ、草が伸びているなど維持管理的な要望がある。

問 公園の管理協定の制度はいいが、単価の見直しは。

答 管理協定を実施してから10年が経ち、自治会の方の年齢層も大きく変わっている。見直しの検討はする。

反対です 討論

消防中島出張所の廃止は認められない

丸藤栄一 議員

- 10月1日から消費税が増税され、前年度比で3,472万円の負担増になったこと。
- 駅東口整備事業費は、福祉や教育予算に影響を与えないよう極力抑えること。
- 女性の幹部職員は僅か6.1%で改善が必要。
- 災害時要援護者への支援体制の具体化を。

討論 **賛成です**

今後も町民に希望と安心を

角野由紀子 議員

- 歳入は町税の収納率は98.1%と高い。
- 歳出は基本構想の実現に向け着実に実施している。幼児教育の無償化が実現したのは喜ばしい。笠原地区の浸水被害に対し、排水路整備を早急に対応したことも評価する。

全体として決算として適正である

西村茂久 議員

- 町税収入は厳しい状況、町税、各種交付金、補助金、支出金などの確保に努めること。経常経費の削減を常に念頭に置くこと。
- 予算に沿って各種事業を精力的に行ってきたことは決算数字から読み取れる。

全体的に町民の立場にたっている

丸山妙子 議員

- 幼児教育、保育の無償化や学童保育所の整備がなされた。小中学校の適正配置をはじめ公共施設再編第2期計画が進められている。行政と住民が力を合わせてこそその住みやすさである。先を見据えた町の考え方を反映させてほしい。

教育は私たち世代にできる未来への投資

浅倉孝郎 議員

- 基礎学力を定着させるための非常勤講師の配置、グローバル化が進む中での英語教育、小中一貫教育推進事業などを高く評価する。今後は子ども放課後教室や学校応援団、ICTなどを活用した、子育てしやすい、時代のニーズをとらえた教育事業を行ってほしい。



笑顔あふれる子育てひろば

福祉・教育

主な使いみち

●児童手当支給事業	4億5,038万円
●学童保育所整備事業	1億5,053万円
●小学校施設管理事業	8,874万円
●学童保育所運営事業	7,006万円
●児童福祉対策事業	6,179万円

民生委員の活動にふさわしい待遇を

問 民生委員のなり手が少ない。ご苦労に対して見合った金額を補助すべきでは。

答 委員の役割は複雑化している。以前とは仕事の内容も、求められる活動も変わってきている。待遇の件は意見のとおりと承知している。委員協議会で話し合っていく。

問 福祉タクシー券の利用が少ない理由と、その対応は。

答 今年度はコロナの影響で外出を控える方も。ガソリン券の併用など利用率の向上を目指す。

問 学童クラブは指定管理者制度に移行して、変わる点は。

答 サッカー教室、理科教室が行われた。英語教室、オカリナ教室などが提案されている。

問 子ども・子育て支援事業の使われなかった金額は。

答 ふじ児童クラブの計画業務委託、建設設計業務の執行残を合わせて不用額は546万円。工事請負費の不用額は257万円となっている。

決算委員会が検証!

令和元年度の特別会計・水道事業会計決算は、本会議で補足説明後、決算特別委員会において質疑が行われました。

会計区分	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	39億 261万円	37億7,738万円	1億2,523万円
介護保険	30億 550万円	28億4,451万円	1億6,099万円
後期高齢者医療	4億9,916万円	4億9,320万円	596万円
公共下水道事業	8億8,872万円	7億9,710万円	9,162万円
農業集落排水事業	5,833万円	5,099万円	734万円

国民健康保険

賛成11、反対2で可決

国保財政の安定した運営を図るため、赤字の解消に向けて税率などの改正を実施しました。

被保険者が減少する中、税収が前年度より約640万円上回ったものの、単年度の会計収支では3772万円の赤字となりました。被保険者の減少は今後も続き、税収の確保が厳しくなることが予想されます。



保健センターで健康診断

主な質疑

問 ジェネリック医薬品の使用で医療費の削減効果は。

答 年2回の通知や医師会への要請などにより4000万円の削減ができた。

問 大腸がん検診は増えているのに、胃がん検診は減っているが。

答 保健センターと連携して受診率を上げていきたい。

問 令和元年度の1人当たりの国保税額。1人当たりの年間医療費は。

答 国保税は8万7105円、前年度より約7000円上がっている。年間の医療費は37万4774円となっている。

問 国保税を払えない滞納世帯と保険証などの発行状況は。

答 滞納世帯は416世帯、短期保険証は51件発行し、資格証明書の実績はない。

問 国保税をこれ以上引き上げるのは過酷である。一般会計からの法定外繰入をすべきでは。

答 国保加入以外の方の税金も投入しているので、法定外繰入金は解消していく必要がある。

問 国保税の引き下げの考えは。

答 今後、税率の見直しをしなかった場合、令和9年度までに法定外繰入金が2億5000万円まで膨らむ試算。赤字解消のため2年おきに税率の見直しをしていきたい。

問 埼玉県では赤字(法定外繰入)をいつ頃

までに解消する予定か。令和9年度に県内市町村の保険税の統一化を目指している。

問 国保税の減免拡充の考えは。

答 町としても県の運営方針に合わせていきたい。

賛成討論

浅倉孝郎議員

各種の検診や生活習慣病重症化対策などの疾病予防事業を高く評価する。

病気を予防することで、健康長寿が実現でき、医療費の削減にも寄与する。

反対討論

山下秋夫議員

国保加入者は、高齢者や低所得者が多く、国保税が高すぎて払えない。一般会計からの繰入を増やし、高すぎる国保税を引き下げるべき。子どもへの均等割を非課税にすること。

※法定外繰入とは 市町村が、国保税の値上げを抑えたり、独自の減免措置を実施するために、行っている一般会計から国保会計への公費繰入のこと。

R元 決算

国保の 都道府県化を



福祉運動会

介護保険

〔賛成11、反対2で可決〕

高齢者の自立支援と重度化防止のため、介護予防教室の開催。地域で活躍する介護予防リーダーなどの育成を行いました。

高齢者の閉じこもり防止を目的とした地域交流サロン活動への支援などを行い、令和元年度には新たに4か所のサロンが開設され、町内30か所でサロン活動が展開されました。

主な質疑

問 介護保険料の滞納者は何人。また、特別養護老人ホームの入所待ちは何人か。

答 滞納者は116人。待機者は43人。

問 健口教室、まずまず元気塾、はじめて元気塾の参加者が少ないのでは。

答 健口教室は5名で延べ10名、まずまず元気塾は90名、はじめて元気塾は85名参加。介護予防は積極的に周知を図っていききたい。

賛成討論

浅倉孝郎議員

いきいき100歳体操教室では、高齢者はもちろん、私の世代でも体が軽くなったと好評。来年度の予算も介護予防や認知症対策に力を入れてほしい。

反対討論

山下秋夫議員

介護保険制度は20年が経ち、導入時の保険基準額が3万1500円から現在（第7期）、5万8500円の1.86倍になった。それに加え、利用料の増額も重なった。

賛成討論

西村茂久議員

適切な介護サービスが受けられるための保険給付を行うとともに、要支援者に対する介護予防、日常生活支援に係る事業が、本決算では適切に行われたので評価する。

後期高齢者医療

〔賛成11、反対2で可決〕

口座振替やコンビニエンスストアでの収納など納付しやすくしました。

水道事業会計

〔賛成11、反対2で可決〕

・収益的収支（税抜）
収益的収入 7億8354万円、収益的支出 6億8019万円、純利益 1億335万円。

公共下水道事業

〔賛成11、反対2で可決〕

町下水道長寿命化計画に基づき、宮代第1中継ポンプ場の電気設備更新工事は、令和2年度下水道事業会計予算に定めた特例的支出としました。

賛成討論

西村茂久議員

水道事業を取り巻く環境が厳しい中、持続可能、安全・強靱な水道の目標達成に向け、努力がなされていることを評価する。

反対討論

山下秋夫議員

町民は消費税増税の影響で約450万円の負担増。コロナ禍の中、町民の暮らしは大変。水道料金の減免を求める。

農業集落排水事業

〔全会一致で可決〕

事業内容は維持管理や農業集落排水事業債の償還となっています。

第5次宮代町総合計画(案)

賛成6、反対7で否決

第5次宮代町総合計

画(案)は、賛成6、反対7で否決されました。

第5次総合計画は今後、町の10年後の目標を定める羅針盤です。慎重な審議を長時間に

わたり行いました。

本案は否決されたことから、10月28日に、執行部より、議会での要望や意見を踏まえ、改めて第5次宮代町総合計画(案)を提案する予定です。

主な質疑

問 10年後の人口の目標を3万4000人としているが、その根拠と年齢構成は。
答 人口推計だと3万1000人台だが、市

街化区域内の未利用地の利用、市街地の魅力を高め、概ね3万4000人とした。年齢構成の高齢化率については、人口推計などを見ると10年後が概ね34%で、75歳以上の割合が22%になる。

問 10年後の財政の目標や産業振興は。
答 第4次総合計画のときから、中期財政推計を1年に1回出す。予算のとき、社会保障や地方交付税なども含めて、様々な要因が出てくるので、5年先の推計をつくり、毎年ローリングしながら見ていく。

産業振興は土地利用構想などにおいても、新たに横町地区を産業ゾーンということ地理位置づけた。

問 SDGs(持続可能な開発目標)の考えが盛り込まれているのか。
答 総合計画に相通じるものがあり、それは普遍的なものであると認識している。SDGsの考え方というのが目標年度2030年なので、総合計画と同じ。関連性については今後示していく。

問 ごみ問題は。
答 総合計画では、直接的にはごみ問題という分野では触れていないが、一般廃棄物処理基本計画を策定している。それぞれの行政分野の計画を目標に優劣をつけず、横串に刺して将来目標というものを掲げていく。具体的には前期実行計画、後期実行計画で示していく。

産業振興は土地利用構想などにおいても、新たに横町地区を産業ゾーンということ地理位置づけた。

問 高齢者の世代がどうでもいいように感じるが。
答 年齢的に区別はしていない。全町民を対象に、全ての年齢の方にふさわしい事業を、それぞれ展開していくと考えている。

問 コロナ前と、コロナ後では、世の中が大きく変わっている。見直す必要があるのでは。
答 今回の構想は、多くの人が集まって何かをするのではなく、地域域の活動というのを応援する、あるいは1か所にたくさん人数が集まって何かをするというのではなく、地域の中にそれぞれ場を見つけて少人数でも活動をするため、コロナ禍でも新しい行動、町民の活動を決して阻



東武動物公園駅西口エリアの魅力を高めていくというが…

害せず、むしろ先を見
ていた部分もあるので
変える必要はない。

問 「東京のベッドタ
ウンではなくなってい
ます」とは。

答 今回の宮代町には東
京に通勤する人より近
隣に通勤する人が増え
ている。また、ベッド
タウンという意味には
働いて寝に帰るだけ
という感じがあるが、
これからは地域の中で
活動を皆さんという意
味合いも込めた。

問 これから10年間、
何をしたいのかわら
ないのだが。

答 総合計画は、方針

指針、未来に向けてど
ういう考えで進めてい
ったらいのかという
ことを示したものだ。具
体的な事業は実行計画
で工程表や実施年度を
示していく。

問 首都圏でいちばん
人が輝く町とは。

答 首都圏にある町と
いうことがうまく伝わ
るようなこと、人が輝
くという未来都市像が
今後の町のキャッチフ
レーズになっていく。

宮代町のあるこの圏域
で「いちばん」ところ
を指さそうという、
未来像である。

問 基本構想の土台は

何か。

答 市民のそれぞれ一
人ひとりの力が土台に
なって、その思い思い
が柱になってくる。今
回は4本の柱が立って
いるが、町民のニーズ
が高まれば5本、6本
となる場合もある。事
業としては、柱と柱が
支え合って梁になって
くるというようなこと
もある。

賛成討論

土淵保美議員

官民一体となつて事
業計画や地域コミュニ
ティの支援、シルバー
及びシニア世代の知恵
を備えた活躍や、若い
世代の行動力で魅力あ
る宮代町となり、新し
い力で町がより輝くコ
ンパクトシティの礎に
なることが期待される
総合計画である。

反対討論

丸藤栄一議員

パブリックコメント
では、多くの住民から
意見が出されたが、町
の見解は不誠実なもの
となっている。

住民の福祉の増進を
図ることがきちんと書
かれておらず、曖昧な
表現になっている。こ
ういった点からも基本
構想に反対する。

賛成討論

塚村香織議員

まちづくりの目標と
して宮代らしさをワー
ドに掲げているところ
に共感した。子育て、
教育、介護、自治会な
ど行政と町民の相互連
携、相互承認による多
様性の体現が課題解決
に繋がる。4つの構想
を基にした具体的な事
業に期待し、賛成する。

令和2年度一般会計補正予算

〈全会一致で可決〉

人事異動などに伴う
人件費補正、新型コロナ
ウイルス感染症対策、
子ども子育て支援やふ
るさと納税管理などの
事業を推進しています。

インフルエンザワク
チン予防接種の無償化
と助成を推進。

主な事業

- 宮代まちづくり基金積立
- 公共施設整備基金積立
- ふるさと納税管理
- 福祉医療センター運営
- 主要町道整備
- 進修館管理
- 学童保育所運営
- 児童福祉対策
- 小学校施設管理
- 防災活動

賛成討論

丸藤栄一議員

町長へのコロナ感染
対策における要望書の中
に、児童生徒へのイン
フルエンザワクチン
接種も要望していた。
これらが予算化された
ので賛成する。

賛成討論

角野由紀子議員

県高齢者インフルエ
ンザ予防接種の公費と
町行事中止の予算財源
分で、重度心身障害者
や子ども医療費支給対
象者などに拡大したス
ピード対応を評価する。

条例の改正

未婚のひとり親に対す
る税制上の措置及び寡
婦(寡夫)控除の改正

〈全会一致で可決〉

離婚歴の有無や性別
にかかわらず、生計を
一にする子を有する単
身者について同一の
「ひとり親控除」を適
用する。

宮代町職員などの旅費
に関する条例の一部を
改正する条例

〈全会一致で可決〉

身体的な障害などの
ため公用車を使用する
ことが困難である場合
に、家用自動車によ
る出張を認めることと
する。

宮代町手数料条例の一
部を改正する条例

〈賛成11、反対2で可決〉

通知カードは廃止。
通知カードの再発行及
び変更も不可。

請願

金原、山崎、逆井、西原団地への循環バス
あるいはデマンド交通の運行を求める

〈全会一致で採択〉

主な質疑

が運転をしてもらえ
なくなつた。

問 7年前なぜバス
停がなくなつたのか。

答 循環バスとデマ
ンド交通のどちらを
必要としているか。

問 循環バスの乗客
が少なく、運転ルー
ト変更の見直しが行
われ、外された。

答 現行、実施され
ているのは循環バス
なので、すぐに延長
してもらいたいのが、
とにかくできるので
あれば、デマンド交
通でもありがたい。

問 運転者が減少し
ているというのは、
一方の共働きの増加
に伴い、高齢者の方

に
高年齢が進んで
いる現状で、循環
バスが、不便を感
じている多くの高
齢者のため、本当
に便利バスと言わ
れるように運行す
ることを望み、賛
成する。

賛成討論

泉伸一郎議員

高年齢が進んで
いる現状で、循環
バスが、不便を感
じている多くの高
齢者のため、本当
に便利バスと言わ
れるように運行す
ることを望み、賛
成する。

高齢化が進む地域に循環バスの復活を

意見書

子どもたちの学び、心身のケア、安全な教育環境
を保障するために、少人数学級の実施を求める

〈全会一致で可決〉

新型コロナ感染か
ら、子どもと教職員
の健康と命をいかに
守っていくかは重要
な課題です。3か月
もの休校で、子ども
たちは学習の遅れと、
かつてない不安やス
トレスが増していま
す。子どもの心身の

ケアをしっかりと行
うことは学びを進め
るうえでの前提です。
政府の「骨太方針2
020」も、少人数
によるきめ細かな指
導体制の計画的な整
備について、関係者
間で丁寧に検討する
ことを求めています。

来年度予算編成にか
かわる重要な局面と
なっています。子ど
もたちを新型コロナ
感染から守り、仲間
との共同の学びと、
豊かな学校生活を送
れるために、少人数
学級を実施するよう
強く要望します。

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政
の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める

〈全会一致で可決〉

新型コロナウイル
ス感染症の拡大で、
甚大な経済的・社会
的影響があり、地方
税・地方交付税など
の一般財源の激減が
避けがたくなってい
ます。そこで、下記
事項を実現されるよ
う要望します。

1、財政運営に必要
な地方税、地方交付
税などの一般財源総
額を確保・充実する
こと。

2、地方交付税につ
いては財源保障機能
と財源調整機能が適
切に発揮できるよう
総額を確保すること。
3、地方税収が減少
することに対して万
全の減収補填措置を
講じること。
4、国税・地方税の
政策税制については
整理合理化を図り、
新設・拡充・継続は
有効性・緊急性を厳
格に判断すること。

人事

〈全会一致で同意〉

町教育委員に
吉澤久美子氏を任命



町教育委員に吉澤
久美子氏を任命する
ことに全会一致で同
意しました。

選挙管理委員・補充
員に8名が当選

選挙管理委員

- 小林 弘明氏(和戸)
- 高畑 洋一氏(須賀)
- 島村 恵子氏(宮代)
- 岡村 信夫氏(東)
- 選挙管理委員補充員
- 渋谷 清信氏(須賀)
- 宮下 美哉子氏
- (東姫宮)
- 菊地 正明氏(和戸)
- 小島 久美子氏(中)

議案に対する各議員の賛否

○賛成 ●反対 - 議長は採決に加わらない

議案番号	議案	主要内容	議決結果	日本共産党	無党派	政策会議				公明党		令和 新風の会				議長		
				2人	1人	浅倉	金子	西村	小河原	泉	角野	塚村	合川	土淵	川野	田島		
				山下	丸藤	丸山	浅倉	金子	西村	小河原	泉	角野	塚村	合川	土淵	川野	田島	
42	令和元年度一般会計歳入歳出決算の認定	議P2~5	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
43	令和元年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	議P6	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
44	令和元年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	議P7	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
45	令和元年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	議P7	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
46	令和元年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	議P7	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
47	令和元年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	議P7	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
48	令和元年度水道事業会計利益の処分及び決算の認定	議P7	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
49	税条例の一部を改正する条例	議P9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
50	職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例	議P9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
51	手数料条例の一部を改正する条例	議P9	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
52	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	居室訪問型、保育事業の規定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
53	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	国の訂正手続きに伴い規定の整備	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
54	第5次総合計画について	議P8,9	否決	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	-
55	指定管理者の指定について(陽だまりサロン)	NPO法人 きらりびとみやしろ継続	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
56	指定管理者の指定について(町立図書館)	(株)図書館流通センター継続	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
57	教育委員会の委員の任命につき同意を求めること	議P10	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
58	令和2年度一般会計補正予算(第4号)	議P9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
59	令和2年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	職員の異動に伴う人件費補正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
60	令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
61	令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
62	令和2年度水道事業会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
63	令和2年度下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
64	国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	コロナ傷病手当金支給期間の延長	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
65	令和2年度一般会計補正予算(第5号)	議P9	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書第3号	子どもたちの学び、心身のケア、安全な教育環境を保障するために、少人数学級の実施を求める意見書	議P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
意見書第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	議P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
選挙第6号	選挙管理委員会の委員及び補充員の選挙	議P10	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
請願第2号	金原、山崎、逆井、西原団地への循環バスあるいはデマンド交通の運行を求める請願書	議P10	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

町政をたただす

一般質問は9月2日、3日、4日の3日間で行いました。

13人の議員が登壇し、コロナウイルス対策、循環バスの取り組み、防災対策、教育関係など49項目にわたり、町の考えをただしました。

ここに掲載したものは、質問・答弁ともに質問者がまとめたものです。



本会議の様子

通告順(発言順)の記載でなく、抽選順としています。

一般質問項目一覧

1. 西村 茂久 議員…………… P13

- ① コロナ感染症に対し町の対応はどうあるべきか
- ② 便利バスの今後

2. 泉 伸一郎 議員…………… P14

- ① 新型コロナウイルスの第2波に備えた町の対策
- ② 避難所の運営
- ③ 循環バス
- ④ 熱中症などの暑さ対策

3. 川野 武志 議員…………… P15

- ① 御成街道と東武伊勢崎線との立体交差化事業
- ② 第5次宮代町総合計画
- ③ 公共交通のあり方

4. 土淵 保美 議員…………… P16

- ① 町道第252号線の北春日部方面への延伸
- ② 町道第1487号線の整備
- ③ 町民体育祭
- ④ 防災活動事業
- ⑤ 集会所事業

5. 浅倉 孝郎 議員…………… P17

- ① 新型コロナウイルスによる町の対応
- ② 笠原地区の浸水対策の工事の状況
- ③ 循環バス
- ④ 東小学校の文化財の指定
- ⑤ 小中学校のトイレの改修

6. 合川 泰治 議員…………… P18

- ① 東武動物公園駅西口ロータリー付近交差点の安全対策を
- ② 災害用テントの購入を
- ③ 町内における宿泊需要調査の実施を
- ④ 新しい村の道の駅登録の検討を

7. 丸山 妙子 議員…………… P19

- ① 町内小中学校の適正配置について審議の進捗は
- ② 指定管理に移行した、放課後児童クラブ(学童保育所)の状況は
- ③ 町の広報紙や議会だよりなどの配布について、全世帯配布が基本と考えるが

8. 金子 正志 議員…………… P20

- ① 職員採用と退職予定者
- ② 消防中島出張所の廃止後の状況
- ③ 公衆喫煙所
- ④ 町長報酬20%削減の継続を
- ⑤ 合併に関する対話集会
- ⑥ 宮代・杉戸町の一体化・連携が最重要

9. 角野 由紀子 議員…………… P21

- ① 新しい生活様式に向けデジタル化の推進を
- ② 廃止された第一浄水場の土地活用を
- ③ 笠原と中央の交差点に交通指導員の配置を
- ④ 「断らない」相談窓口

10. 小河原 正 議員…………… P22

- ① これからの町政運営
- ② 病院計画
- ③ 都市計画税の見直し
- ④ 選挙費用の公費負担

11. 山下 秋夫 議員…………… P23

- ① コロナ禍の状況の中で 安心・安全な学校づくりを
- ② 道路の安全対策は
- ③ 久喜市、医療法人 土屋小児病院が新型コロナにより経営危機になっているが宮代町での対応は

12. 塚村 香織 議員…………… P24

- ① 学びの選択肢の拡大を
- ② コロナ禍での子育て相談
- ③ 多様なケアの役割を無償で担っている方(ケアラー)への支援

13. 丸藤 栄一 議員…………… P25

- ① 新型コロナウイルス対策の取り組み
- ② コロナ禍での災害対策
- ③ 国保加入者の負担軽減を

◎ 白抜きの数字は掲載された質問。それ以外は紙面の都合により掲載できなかったものです。



にしむら しげまさ
西村 茂久 議員

町が独自に検査体制を整える条件は

独自の検査体制は非常に難しい



PCR検査の窓口 幸手保健所

をお願いした。

問 町内のPCR検査数は。

答 健康介護課長

陰性の件数や検査件数は、県及び保健所設置市でしか把握できない。

問 町民の不安・不信・不便な思いをどう解消するのか。

答 健康介護課長

指定感染症であることから速やかに正しい情報を発信することが重要。

問 町が独自の検査体制を整えるとすればその条件整備は。

答 健康介護課長

医師会との調整、人員や場所の確保、届け出が必要となり



宮代台中央公園バス停から乗車、循環バス

町が独自に検査体制を整えることは非常に難しい。

問 コロナの特性は無症状の感染者が多いこと。今後も国・県ラインで続けるのか。

答 町長

PCR検査は県民誰も願っているが難しい。間接的な情報ではあるが以前に比べ検査を受けているのは事実。医師会の協力が不可欠。

循環バスをより便利に

問 公共交通会議の開催予定は。

答 企画財政課長

業務委託契約満了前の令和4年上半期。**問** 町が考える便利の内容は。

答 企画財政課長

公共施設・集会所・商業・医療施設を結ぶ。

問 久喜への相互乗り入れは。

答 町長

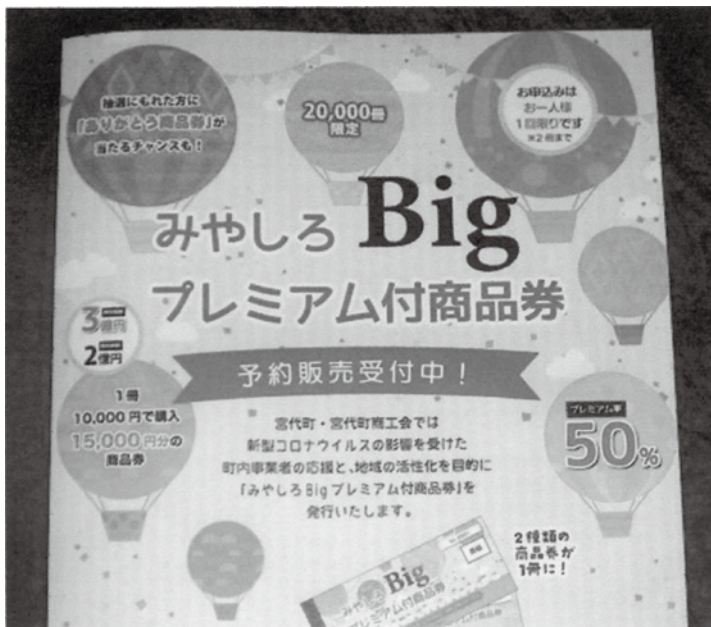
両首長・担当間で話は進めているが、難関は時間のズレと久喜2路線との調整。

新型感染症の第2波に備えた町の対策は

国や県の動向と合わせて対策を講じていく



いずみしんいちろう
泉 伸一郎 議員



町内経済の活性化のためのプレミアム付き商品券

問 新型コロナウイルスの第2波に備えた町の対策は。

答 健康介護課長

町として交付金を活用し、様々な支援策や対策を講じてきた。引き続き、国や県の動向と合わせて対策を講じていきたい。介護分野では、地域包括支援センターを中心に適切な支

援に努めている。保育分野では、関係機関と連携して見守りや安全確認に取り組んでいる。

問 コロナ禍での避難所の開設と運営の対策は。

答 町民生活課長

第1段階で、25か所を避難所として指定している。さらに3密を避けるために集会所など使える施設は可能な限り避難所として活用できるよう、また、感染症対策を講じられるよう準備を進めている。

循環バスとデマンド交通

問 第5次総合計画を踏まえた公共交通の展望は。

答 企画財政課長

便利バスを補完するデマンド交通として、福祉タクシー利用券と類似した方法

熱中症などの暑さ対策

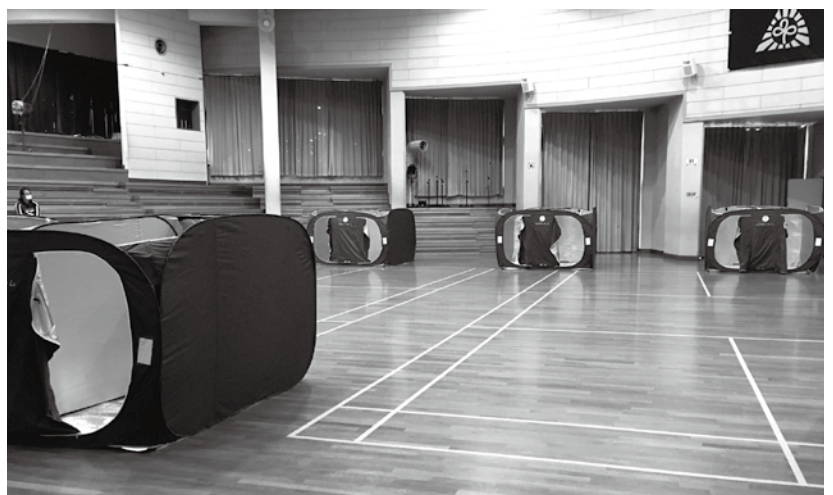
でタクシー助成を検討している。循環バスの業務委託は令和4年度末までのため、見直しの予定はない。

問 日傘や帽子の使用と水筒にスポーツドリンクの追加は。

を可としている。帽子の着用や冷却タオルの使用など、各校对策を講じている。水筒は水・お茶が基本で、スポーツドリンクについては各校、概ね可としている。

答 教育推進課長

日傘は各校で利用を可としている。帽子の着用や冷却タオルの使用など、各校对策を講じている。水筒は水・お茶が基本で、スポーツドリンクについては各校、概ね可としている。



避難所に設置するワンタッチパーテーション



かわの たけし
川野 武志 議員

和戸踏切立体交差化の進捗は

ちよく

地質調査や踏切改良計画書の策定を進める



和戸踏切立体交差、早期実現に向け地元説明会を

問 歩行者、自転車利用者のための踏切の存続は。

答 まちづくり建設課長
埼玉県と東武鉄道とで協議したが、踏切事故解消の観点か

ら存続は不可とのこと。

問 踏切閉鎖の代替案としての備前堀川への人道橋新設の内容は。

答 まちづくり建設課長
雷電神社付近から対岸の国納丸屋地内に幅約2m、延長約25mで、歩行者と自転車専用の橋を計画している。

問 地権者や周辺住民らへの説明会の開催や事業化に向けた今後の手続きは。

答 まちづくり建設課長
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から説明会の開催は難しい状況。宮代台自治会を対象に実



便利バスと民間タクシーで町民サポート

施したアンケート調査結果や県の見解などを自治会に書面で提示する。また、今年度は地質調査や踏切改良計画書の策定を進める。

頼りになる公共交通の取り組みは

問 「便利バス」は、誰もが「便利」とは言えない状況である。便利バスの運行はこのままで良いと考えているのか。

答 企画財政課長

現在のバスルートは、令和4年度まで大きな変更は予定していないが、第5次総合計画の施策としてバス停がない地域などに、便利バスを補完するデマンド交通としてタクシード成を検討している。詳細は検討中だが、年齢などの一定条件を設定し、福祉タクシー利用券を配布する方向で考えている。

町道1487号線の整備について

完成は年度末になる



つちぶち やすみ
土渕 保美 議員



草だらけの町道1487号線の早期整備を

問 東姫宮1丁目の工事の進ちよくは。また、東姫宮2丁目の要望書などを踏まえた今後の対応は。

答 まちづくり建設課長
東姫宮1丁目地内は電柱の移設も必要となり、完成は年度

末になる。2丁目地内は草刈り後に砂利をまき、整地する。

町道252号線の北春日部方面への延伸

問 現在の検討状況は。

答 まちづくり建設課長
春日部市と宮代町との一体的な整備となり、同時期に行うことで事務調整を進めている。

町民体育祭が中止の場合

問 中止の場合、体育祭に変わるイベントは。

答 教育推進課長
コロナ禍で体育祭は中止を決定し、それに代わるイベントも難しい。

防災活動事業

問 コロナ禍の避難所対策は。

答 町民生活課長

3密対策として避難所開設運営方針を定め、方針に基づき避難所を開設する。

集会所事業

問 調整区域と市街化区域では、相続の際にかかる負担に差

異が生じるが町の考えを。

答 町民生活課長
この件の負担の差異については、集会所用地に限定されるものではなく制度の中で適用される。



地域コミュニティの中心となる集会所



あさくら たかお
浅倉 孝郎 議員

コロナ禍での小中学校の対応は

できる限りの対応をしていく



コロナ禍で開催された運動会

問 小中学校の運動会や体育祭、修学旅行の実施を。

答 教育長
小中学校の運動会は3密とならないよ

う工夫しながら実施していく方向性である。修学旅行は県のガイドラインを参考に、必要に応じて保護者の方々のご意見を伺いながら検討していく。

問 コロナ禍で収入が減少した家庭への対応は。

答 教育長
学用品や学校給食費を援助する「就学援助制度」で対応していく。

問 小中学校のトイレの洋式化を。

答 教育推進課長
学校のトイレの臭い問題の改善に向け、小中学校7校すべて尿石除去や水垢洗浄

清掃を実施している。体育館のトイレの洋式化、バリアフリートイレのウォッシュレット化の予算も確保した。

笠原地区の浸水対策工事

問 笠原地区の浸水対策の工事はいつ完了するのか。

答 まちづくり建設課長
エンジンポンプと軽自動車を購入した。台風などがきても排水作業は可能である。

校庭内の工事は、9月末に工事を完了する。

循環バスの利便性の向上を

問 循環バスの利便性を高めるため、一定区間で自由に乗り降りできる「フリー乗降制」の導入を。

答 企画財政課長
フリー乗降制は、他の自治体を参考にしながら導入の可能性を含め、検討していく。



フリー乗降区間は手をあげるとどこでも乗ることができる

東武動物公園駅西口交差点の安全対策を

今年度中に一時停止の交通規制を実施する



あいかわ たいじ
合川 泰治 議員



賑わいとともにも安全性の向上を

問 東武動物公園駅西口ロータリー付近の交差点の安全対策を。
答 まちづくり建設課長
東武動物公園駅西口整備事業に伴う警察との交差点協議の際、計4回にわたり、

信号機の設置を要望していたが、交通量が少ないなどの理由から設置は難しいとの判断だった。このような状況を踏まえ、一時停止の交通規制を要望しており、その結果、今年度中には一時停止の交通規制を実施するとのことである。

今後の新しい村のあり方は

問 新しい村の「道の駅」登録の検討を。

答 産業観光課長

登録は国土交通省が定める要綱に合致するよう、24時間開放型のトイレやベビーカーの設置、駐車場と各施設間のバリアフリー化など、いくつかの設備投資や財政的な課題はあるにせよ、物理的には対応できるのではないかと考えている。



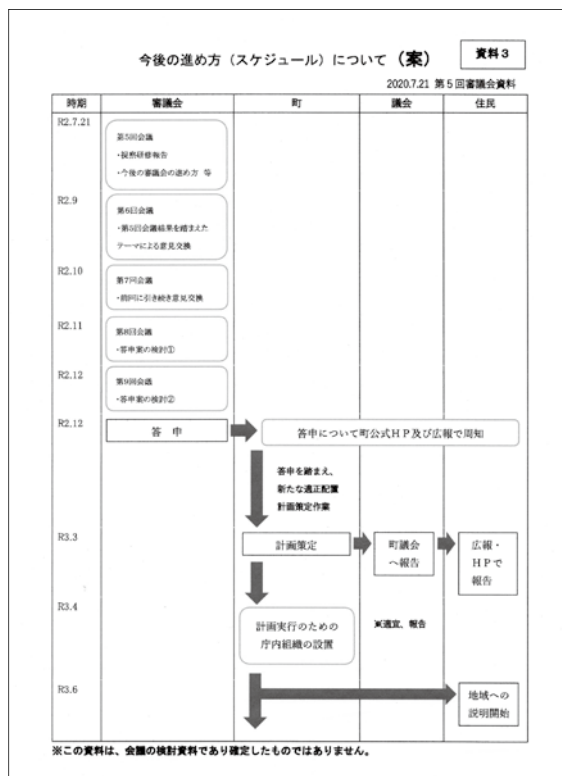
「道の駅」とすべきかの議論を

新しい村は、第5次総合計画でも今後のあり方を検討することとしている。道の駅がもたらす集客効果や宣伝効果には大いに期待したい。24時間明かりをともし、トイレや駐車場を開放することが、この地域の風景や環境にマッチしているか。これらが道の駅として登録を受けることの意義や、メリット、デメリットを十分整理して検討していきたいと考えている。



まるやま たえこ
丸山 妙子 議員

小中学校適正配置の進捗及び今後の審議 計画の検証と教育環境の変化を踏まえ審議



コロナ禍をふまえ、今後少人数学級の導入が望まれる

問 ①審議会で提示したスケジュール案では令和2年12月答申予定、これまでの進捗状況は。②少人数学級導入の考えは。③猛暑の中、遠距離

の登下校をどう考えるか。

答 教育推進課長

①審議会は昨年7月に設置し、5回の会議と1回の視察を実施した。②少人数学級は新型コロナウイルス感染症の影響により顕在化した課題。学級数の想定を提示し必要な意見交換を実施したい。③審議会で通学時の安全性を最大限確保する方向性を確認。子どもたちに過度の負担が生じないよう検討すべきと考える。

放課後児童クラブの状況

問 ①指定管理の(株)A

ンフィニの求人広告に指導員の募集が出ている理由は。②新しい建物のふじ児童クラブの使い勝手など、不具合の把握と(株)アンフィニとの連携は。

答 子育て支援課長

①土曜日保育時間の拡充の検討や緊急時体制の確保や保育環境の充実を図るため募集。②ふじ児童クラブの駐車場はさらに確保。網戸や物置の設置。指導員か



冬に向かって、心地よい環境で過ごせるように改善を

ら手洗い場の数の増の意見あり、設置に向け検討。現場の声を聞き、連携を図り、保育環境の向上に向け対応していく。

広報みやしろの全世帯配布

問 町民サービスの観点から早急に改善を求め。

答 総務課長

配布方法や配架場所について検討したい。

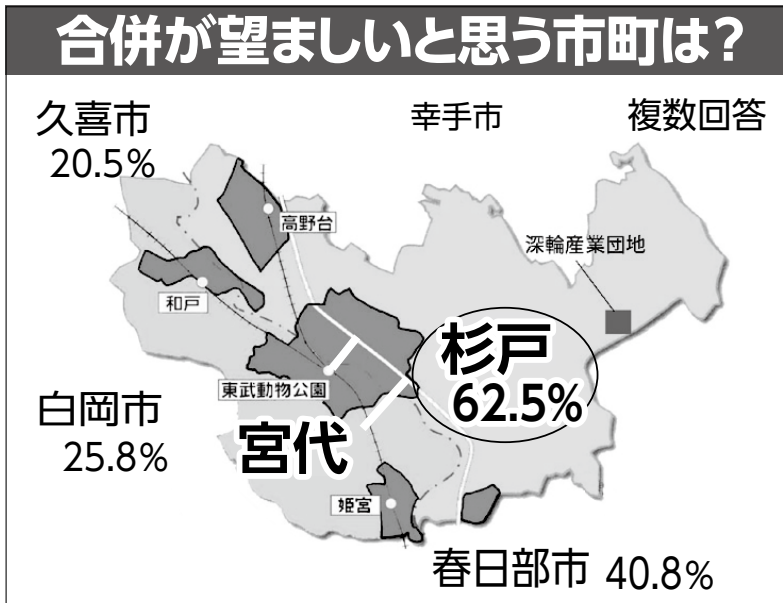
合併に関する対話集会で住民の声を

対話集会の開催は考えていない



かねこ ただし
金子 正志 議員

合併が望ましいと思う市町は？



合併アンケートの結果を尊重したい

問 合併アンケートの結果は「望ましい」58・7%、「望ましくない」28・9%。合併に関する対話集会の予算を組んで現状を説明し、住民の声を聞く考えは。

答 町長

私は「小さくても輝く町に」を示し、

選挙で選ばれた。市町村合併はある意味で「大きくて効率的な行政に」である。私の考えとも公約とも違う。対話集会の開催は考えていない。

公衆喫煙所の設置

問 杉戸町では役場駐車場付近に公衆喫煙所を建てた。宮代町役場も受動喫煙を防止するための取り組みとして公衆喫煙所を設置する考えは。

答 健康介護課長

敷地内に喫煙所を設けるスペースが見当たらないこともあり、喫煙所の設置は考えていない。

職員採用の抑制を

問 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で国内外の経済活動が停滞している。経済に与える影響の大きさが来年度の税収に



杉戸町役場の駐車場に設置された公衆喫煙所

反映されてくる。職員採用人数は抑制すべきでは。

答 総務課長

町としてはこのような状況下であるからこそ、多様な行政需要に対応した組織づくりと住民サービスの向上に向けた職員確保に努めなければならぬと考えて

いる。

問 杉戸町の会合で「宮代・杉戸両町の一体化・連携が最重要」という挨拶をされたと聞く。具体的な説明を。

答 町長

挨拶の中では一体化という言葉は使っていない。誤解のないように。



かどの ゆきこ
角野 由紀子 議員

新しい生活様式に向けデジタル化の推進を

必要不可欠であり、積極的な検討を進める

都道府県名	市区町村名	総数(人口)	交付枚数	人口に対する交付率
全国		127,443,563	23,246,822	18.2%
埼玉県	さいたま市	1,302,256	247,053	19.0%
埼玉県	加須市	113,321	17,806	15.7%
埼玉県	春日部市	234,598	45,918	19.6%
埼玉県	久喜市	153,709	27,043	17.6%
埼玉県	蓮田市	61,961	11,511	18.6%
埼玉県	幸手市	51,338	7,808	15.2%
埼玉県	白岡市	52,497	8,879	16.9%
埼玉県	伊奈町	44,789	6,481	14.5%
埼玉県	三芳町	38,324	6,427	16.8%
埼玉県	宮代町	34,097	7,964	23.4%
埼玉県	杉戸町	45,117	7,794	17.3%
埼玉県	松伏町	29,535	4,249	14.4%

マイナンバーカード交付率、県内1位！(近隣状況)

問 施設の利用予約をオンラインでできる取り組みを。
答 企画財政課長
電話などで仮予約、窓口で本予約、利用料金の支払いという

問 「断らない相談支援体制」を
答 企画財政課長
一部業務で実施している。専用パソコンの購入、LAN回線の増設など、体制整備を図る。

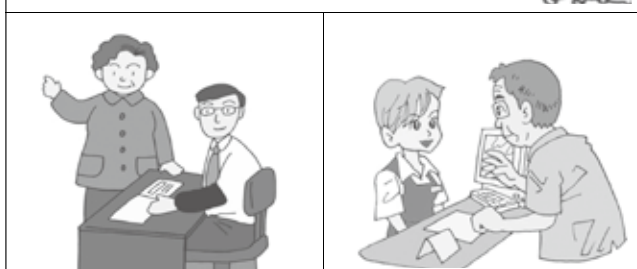
問 横断する通学児童
答 福祉課長
複数の課で情報共有し、連携して支援にあたる場合もある。社会福祉法改正に基づく支援体制整備について対応していきたい。

問 第一浄水場を新しい村の一角として、早期活用を。
答 まちづくり建設課長
全庁的検討が必要である。

問 WEB会議導入は。
答 企画財政課長
町独自はないが、個人番号カードの交付数は7964枚、人口に対する交付率は23・4%で、県内第1位となっている。

問 多くの課題に対し、包括的に対応する相談窓口はどう取り組むか。
答 町民生活課長
通学時、約20分間で300人の児童が通過している。交通指導員が確保できるまで、安全確保に努めていく。

問 断らない相談支援体制で共生社会を
答 福祉課長
複数の課で情報共有し、連携して支援にあたる場合もある。社会福祉法改正に基づく支援体制整備について対応していきたい。



断らない相談支援体制で共生社会を

病院の誘致を

10月1日からプロジェクトチームを設置



おがわら ただし
小河原 正 議員



西口の開発地区に病院を

問 東武動物公園駅西口に東武鉄道が打診した病院計画は町民の命を守るため、病院誘致は必要ではないか。

答 健康介護課長
病院誘致は、今後、県の地域保健医療計

画も見直しが行われると思われるので、それらの動向を注意深く見守りながら「第8次地域保健医療計画」の策定の際には、増床が認められるよう働きかけを行っていく。

答 町長
第8次は来年度が検討期間で、再来年度に確定すると思われる。

病院誘致の実現に向けて、早速ですが10月1日から専属プロジェクトチームを設置して、きちんと進めていく。

町長のまちづくりの姿勢は

答 町長

「私が変わるあなたが変わる」のキャッチフレーズで、対話のまちづくり推進室をつくり、2年間かけて第5次総合計



圏央道の久喜・宮代インターに期待

画をつくった。

また、圏央道の久喜・宮代インターも国交省を含めて、着実に今、話を進めている。

都市計画道路は

問 都市計画税の導入から今年で10年間経過しているのに、納

税者の生活環境対策の要望を聞く耳を持つべきでは。

答 まちづくり建設課長

都市計画道路だから優先とか地区生活道路優先という事ではなく、老朽の度合いや利用状況などにより判断して、しっかりと対応していく。

子どもたちの学びを保障する少人数学級を

国、県へ少人数学級の要望をしている



あきお やました
山下 秋夫 議員



学校の水道設備は大丈夫か

問 コロナ禍の中で、全国知事会などは、子どもたちの安全を確保するため、少人数学級を求めているが町の考えは。

答 教育長

少人数学級を行うための教員の拡充を国・県へ要望。教職員の負担軽減のためにスクール・サポート・スタッフを配置する。

問 職員室の3密対策と教職員の定期的なPCR検査を求める。また給食費の無料化を。

答 教育推進課長

1 検体3万円から5万円、国や県からの財政支援がなくなる。町単独での実施は無理がある。職員会議は換気や手洗い、時間短縮、広い場所での会議などを行う。給食費は、検討したが



東武動物公園駅西口、交差点の安全対策を

子育て世代の支援策が講じられている。

問 学校設備の点検で水道の不具合場所があり、子どもたちの手洗いに影響があるのでは。

答 教育推進課長

日常的に点検。水道は現場と調整する。

道路の安全対策は

問 東武動物公園駅前の交差点の安全対策は。

答 まちづくり建設課長
一時停止の交通規

制は、今年度中に実施する。

問 道路の凸凹の修繕やカーブミラーの点検はどのように行っているのか。

答 まちづくり建設課長

職員パトロールや住民などからの情報に基づき判断しているが、通学路は優先して対応している。カーブミラーは職員による防犯パトロール時や、町民の通報で適宜対応する。

学びの選択肢の拡大を

オンライン学習導入へ研究を進める



つかむら かおり
塚村 香織 議員



PCを使い映像や音声で教科書を確認 (小6 英語授業)

問 学校へ行けない児童生徒へ、オンラインによる学習機会の提供は考えているか。

答 教育長
タブレットがひとり1台支給されるこ

とになり、教室外でのオンライン学習の導入に向けても研究をしていく。

問 適応指導教室設置の進捗よく状況は。

答 教育長

第5次総合計画にも位置づける計画で進めている。

コロナ禍の子育て支援状況

問 子育て相談では保護者のニーズにどのような対応をしているのか。

答 子育て支援課長

保護者の相談に、子育て相談員、保健師がオンラインで対応できるよう整備を進めている。

問 コロナ禍での児童虐待の件数と対応は。

答 子育て支援課長

7月末で31件を把握。支援の必要な子どもの情報を関係機関と共有し、放置せ



オレンジカフェを月1回開催 (現在はコロナ禍のため休止中)

ず迅速な対応に努めている。

多様なケアを無償で担うケアラーへの支援

問 ケアラーへの宮代町での取り組みは。

答 健康介護課長

地域包括支援センターを中心に相談業務やオレンジカフェ

を開催。住民独自の介護者サロンみやしろに参加し、状況を把握、改善に向けた支援をしていきたい。

問 コロナ禍の高齢者虐待件数は。

答 健康介護課長

コロナの期間に2件把握しているが、コロナとの関連は薄い。



がんだう えいいち
丸藤 栄一 議員

町独自のPCR検査はできないか

人や財源の確保が厳しい



幸手保健所管内にある「発熱外来PCRセンター」

問 町独自のPCR検査体制はとれないか。
答 健康介護課長
検査を実施する医療関係者の確保、検査キットの確保。ま

た、検査の結果、陽性と判定された方の収容先の確保。そして、検査費用に関わる財源の確保など、これらについて全てクリアしなければならぬので、町単独での実施は困難である。

水道料金の免除を

問 町民の暮らしを支援するため、水道料金の基本料金や使用料を半額にするなどの考えは。
答 まちづくり建設課長

真に生活が困窮している方に対し、個々の相談になるが、しっかりと対応していきたい。



「誰ひとり取り残さない、被害者ゼロ」の防災対策を

問 水害などに対し、「誰ひとり取り残さない」避難計画を作る必要がある。それには、一人では避難できない高齢者や障がい者などの要援護者に対し、避難する際の協力者を見つけることではないか。
答 町民生活課長

高齢者や障がい者への配慮の提供を平時と災害時で継ぎ目なく連結させ、近所

の方々からの支援をいかに確保するのかを考えておく必要がある。誰ひとり取り残さない防災は、当事者に寄り添う相談支援専門員のような伴走者や仲介者などの仕組みがあつて前進する。

今後は、福祉部局自主防災会、自治会などと調整を図り、改善に努めていきたい。



町民の声



まなか のりこ
間仲 法子さん
(姫宮)

私は、宮代町に住んで9年半です。この間に初めての子育てを経験しました。出産当時は、都市部に比べて子育てがしにくいように感じていました。ですが、ふれ愛センターやスキップ広場でのまつりなど、親子向けの施設やイベントで楽しむことが数々ありました。

また、バスや鉄道を親子で利用すると、町の方から声をかけて頂くことがよくあります。結果、町中が子どもと楽しく過ごした思い出の場所となりました。

ただし、親子で町内を

通行していると色々な困難に出会うことは、残念です。私の移動手段は徒歩か自転車ですが、背の高い雑草が道路に迫り出してあたらずには通れない、すれ違いができない、ということがよくあります。大雨でもないのに、田んぼの水が道路に溢れている道、狭くてベビーカーが通れない歩道、途中に壁ができ車道に下りなければならぬ歩道もあります。車椅子での移動は困難でしょう。誰もが安心して移動しやすい町になるといいなと願っています。



表紙の写真紹介

コロナ禍で行われた東小学校の運動会。午前中のみ、3密になる競技は中止など様々な制約がありました。児童らは元気がいっぱい、一生懸命に、全力で各種目をやり抜きました。

「ものすごく楽しかった」と低学年の児童ら。「最後の運動会ができて本当によかった」と6年生の児童ら。「二生の思い出になります」と保護者ら。それぞれの思いを胸に感動の運動会となりました。

議会を傍聴しませんか

12月議会の予定は

11月26日(木) 午前10時開会
進修館(議場)

一般質問は12月1日(火) 2日(水) 3日(木)

各議員の一般質問の録画配信は
 パソコン ▶ 宮代町議会HP
 スマホ ▶ QRコード



11月の町民と議員との議会懇談会はコロナ禍により中止といたします。



左から丸藤委員、金子委員長、塚村副委員長、泉委員、浅倉委員

編集後記

広報委員は、新人議員3人を加え、5人のスタッフで取り組んでいます。いつも話題になっていく一つに、「議会だよりは、町民に読んでもらっているだろうか？」です。

最近、他の自治体の議会だよりを手にする機会がありました。その中に「市内の中学生約500人にアンケートをとったところ『市議会だよりを読んだことがある』との回答は、わずか14%でした」とありました。

他人事ではありません。まだまだ努力が必要と感じました。(丸藤)

